

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年7月4日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社SeaChallenge
所在地	〒240-0016 神奈川県横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘 43-20
代表者役職・氏名	代表取締役 永井 康洋
担当者連絡先	電話：045-744-9481 (担当：西潟葉子) メール：sch-sensui.sea-challenge.com
ウェブサイトURL	https://sea-challenge.net/









2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、港湾関係の調査や管理業務を中心に以下のサービスを提供しています。陸上および海上・水中構造物の維持管理調査、データ解析・整理、水中ドローン（ROV）の運用、潜水業務、そしてBIM/CIMデータの作成です。高度な技術と経験豊富なスタッフが最新の機器を駆使し、正確で信頼性の高い調査とデータ解析を行います。これにより、構造物の長期的な安全性と効率的な保守管理をサポートします。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	海洋環境の保全と汚染防止を目指し、持続可能な管理と保全活動を実施。	海洋環境保全の強化による生物多様性の保護。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地域社会との連携を強化し、安全で安心な港湾利用環境を提供。	港湾施設の持続可能な管理と効率的な運営。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	高度な技術を駆使して効率的な港湾施設の維持管理を行い、経済発展を支援。	地域社会との協働による安全・安心な港湾利用の促進。

(次項へ続く)



カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・温室効果ガス排出削減のため、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用を推進。定期的な排出量モニタリングと削減目標の設定を行っています。								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質の使用を最小限に抑えるため、安全な代替物質の採用と管理体制を強化。定期的な監査と社員教育を通じて、環境負荷の低減に努めています。			3.9				6.3			11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・地域の生態系保護のため、植樹活動や自然保護区域の整備を推進。持続可能な漁業と海洋資源管理に取り組み、生物多様性の保全に努めています。							6.6							15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6										
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・再生可能エネルギーの利用、省エネルギー設備の導入、廃棄物削減を推進。地域の生態系保護や環境教育を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。							6				12	13	14	15			
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地域社会との共生を図るため、地元企業との連携や地域イベントの支援を行い、地域経済の活性化に寄与。地域のニーズに応じた社会貢献活動を展開しています。				4						9	11	12		14	15		17
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる					4						11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している									8	9		11	12	13				

